

令和 6 年 2 月 2 6 日
令和 5 年度学校だより NO.45②
加古川市立平荘小学校

1 年の締めくくり ～感謝の気持ちを伝えたい～

3月に入ると、『感謝の会』や『いぶき・わかばカフェ』、『6年生をおくる会』等、今までお世話になった方々へ、感謝の気持ちを伝える機会を、子どもたちが計画しています。

大切なことは、『感謝の会』そのものではなく、自分を支えてくださった存在に気づき、感謝の気持ちをもてることだと思います。その気持ち（感謝の気持ち）を、『感謝の会』という目に見える形で表しているということです。

『感謝の会』を計画準備している子どもたちは、お世話になった方々に喜んでもらいたい（相手を大切にしたい）という気持ちで、その会に臨みます。

『行事は人を育てる』と言いますが、『感謝の会』を計画し、相手に喜んでもらえるように準備を進める中で、子どもたち自身も成長しています。『相手を思いやる気持ち』『感謝の気持ち』『友だちと一つのことを成し遂げる（企画・協力・協調）力』等、子どもたちの成長する姿にも喜びを感じます。

『いぶき・わかばカフェ』に向けて

3月1日（金）に、『いぶき・わかばカフェ』を計画しています。最初に、体育館で、子どもたちの表現活動の発表をした後、わかば学級で『いぶき・わかばカフェ』を開きます。

いぶき・わかば学級の子どもたちは、生活単元の学習の中で、サツマイモの苗を植え、自分たちが育てたサツマイモを収穫し、それを使って、いろいろなサツマイモ料理にチャレンジしています。スイートポテトやサツマイモの蒸しケーキ等、子どもたちが、作ってみたいレシピを主体的に調べてきて、チャレンジしています。

この度の『いぶき・わかばカフェ』でも、今までの学習を生かした計画をしています。

お世話になった方々を招待して、感謝の気持ちを伝えます。

山手ブロック『卒業生を送る会』 （いぶき・わかば学級）

2月21日（水）に、山手ブロックの『卒業生を送る会』を行いました。いぶき・わかば学級の子どもたちが参加しました。



『卒業生を送る会』は、リモートで行いました。司会進行も子どもたちが行い、みんなで、卒業のお祝いをしました。



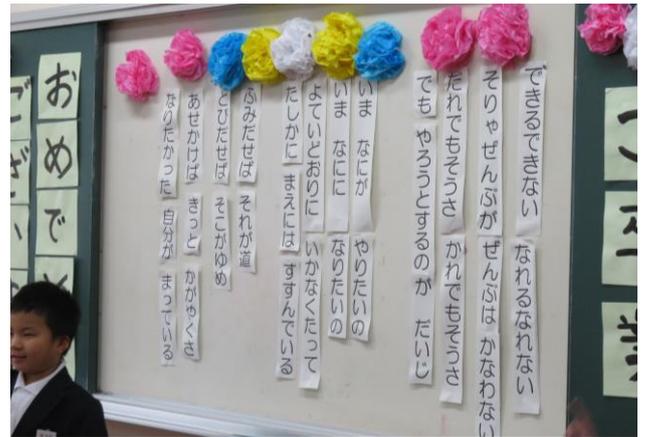
山手ブロック『卒業生を送る会』（いぶき・わかば学級）



卒業生は、中学生になって頑張りたいことを発表しました。



在校生は、卒業生に楽しんでもらえるよう出し物を披露しました。



6年生を送る会の準備を進めています



歌ったり、ジェスチャーを入れたり、呼びかけたりと、限られた時間の中で、感謝の気持ちを伝えられるように練習をしています。